

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
安部 直樹・嶋内 麻佐子・萩原 宏美			

講義概要	<p>①風炉濃茶点前を一人で出来る。炉濃茶点前を覚える。美味しい濃茶を練るようになる。</p> <p>②季節感豊かな茶花の種類を知る。正月の床飾りを学ぶ。法事の床飾りを学ぶ。</p> <p>③和室での歩き方を学ぶ。繰り返しにより自然な動きを身に付けることができる。着物の種類について学ぶ。</p> <p>④地域文化の継承に貢献する。茶道大会で自分の役割を果たす。自己の修養、自己の成長を学ぶ。</p> <p>⑤人や物を大切にする。おもてなしの心を学ぶ。授業最終時には、別棟の茶室（耳順亭）で茶会の流れを学ぶ。</p>
授業計画	<p>1 茶室・露地・炭点前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「月白風清」 ・ワンポイントレッスン「炭の力」 ・炭点前DVD ・炭の説明 ・炉濃茶置き合わせ確認 ・炉濃茶点前前半確認 <p>学習課題 復習：風炉の濃茶点前の自主練習を行う 予習：教科書P63～P69 風炉炭点前</p> <p>2 炉濃茶点前披露</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「水急不流月」 ・ワンポイントレッスン「中秋の名月」 ・炉濃茶点前前半復習① <p>学習課題 復習：炉の濃茶点前の自主練習を行う</p> <p>3 炉・風炉濃茶点前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「釣月耕雲」 ・ワンポイントレッスン「和室の名称①」 ・炉濃茶点前前半練習② <p>学習課題 復習：炉と風炉での置き合わせの違いを確認する</p> <p>4 炉・風炉濃茶点前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「悠然見南山」 ・ワンポイントレッスン「和室の名称②」 ・炉濃茶点前後半練習① <p>学習課題 復習：点前の自主練習を行う</p> <p>5 炉・風炉濃茶点前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「独座大雄峰」 ・ワンポイントレッスン「祝日・休日について」（1月～3月） ・炉濃茶点前後半練習② <p>学習課題 復習：点前の自主練習を行う</p> <p>6 立礼点前披露</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「直心是道場」 ・ワンポイントレッスン「祝日・休日について」（4月～6月） ・立礼見本点前 ・立礼点前確認 <p>学習課題 復習：点前の自主練習を行う</p> <p>7 立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「教外別伝不立文字」 ・ワンポイントレッスン「祝日・休日について」（7月～9月） ・立礼・炉濃茶点前練習① <p>学習課題 復習：点前の自主練習を行う</p> <p>8 立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「古今無二路」 ・ワンポイントレッスン「祝日・休日について」（10月～12月） ・立礼・炉濃茶点前練習② <p>学習課題 復習：点前の自主練習を行う</p> <p>9 茶道大会に向けての練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・禅語「報恩謝徳」 ・ワンポイントレッスン「縁起物（だるま）」 ・茶道大会 亭主・接待・水屋・客点前などパート別の仕事内容を学ぶ（3パートを20分ずつローテーション） ・客点前：①出し服妙の使い方、②濃茶の飲み方、③主菓子の頂き方 ・水屋：①濃茶を練る、②薄茶を点てる ・接待：①縁高や濃茶を客へ出す、②懐紙に干菓子と薄茶を出す

	10	茶道大会に向けての練習 ・禅語「守拙全天真」 ・ワンポイントレッスン「縁起物（鶴亀）」 ・茶道大会の道具説明 ・茶道大会当日の役割の練習に参加する
	11	茶道大会反省会・釜仕舞い ・禅語「門外有松風」 ・ワンポイントレッスン「正月飾りについて」 ・茶道大会反省会 ・釜仕舞い・点て出し
	12	立礼、炉、風炉での濃茶点前と薄茶点前 ・禅語「白珪尚可磨」 ・ワンポイントレッスン「縁起物（松竹梅）」 ・立礼・炉濃茶点前練習③
	13	初釜 ・「高砂」 ・初釜（濃茶点前） ・点前拝見・主菓子の取り方・食べ方・濃茶の飲み方 ・初釜の道具組について説明を聞く ・各班に分かれて新年の抱負を語る
	14	松芳忌 ・「愛別離苦」 ・松芳忌、礼拝練習 ・経歴紹介（映像にて） ・献茶 ・教職員・学生礼拝 ・講話 ・自己評価・アンケート・学習帳
	15	卒業記念茶会（別れの茶会） ・禅語「一華開五葉」 ・お別れの茶会（耳順亭にて） ①茶会の流れ（寄り付き→外待合→蹲踞→躰り口） ②茶席の客体験（主菓子・抹茶） ③水屋で点て出し、客へお運び
	学習課題 予習：「お別れの茶会」の冊子に目を通してくる	
授業形態	演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①点前の練習を重ね、薄茶点前、濃茶点前がスムーズにできるようになる。炭点前を学ぶ。 ②季節に応じた茶室・茶道具のあしらいに気付くことができるようになる。 ③茶道文化の授業を受けることにより、和室で自然な立ち居振る舞いができるようになる。 ④茶道大会の茶席運営に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことを目標とする。 ⑤茶道を通して身に付けた茶の心を、学校や生活の中で役立て、相手の気持ちを理解できるようになる。	
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。	
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修していること	
履修上の注意	茶室に来る時は、必ず白靴下を持参すること。（茶室は神聖な場所である） 茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けること。（TPOを考える） 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておくこと。（自主学習） 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め、授業に臨むこと。（時間厳守）	
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。	
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。 ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。 ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。 ⑥日本の礼法を学びましょう。 ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。 ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。	